

コンクリート工の生産性向上に向けた検討事項

- 規格の標準化や全体最適の導入、工程改善により、生産性向上技術の全国展開、一連の事業区間や全国の事業を想定した最適化、製作・運搬等の各生産工程の改善を図り、コンクリート工の生産性向上を目指す

規格の標準化	生産性を高める技術・工法の普及
	(ガイドライン策定) ➢ 機械式定着工法、機械式継手、流動性を高めたコンクリート、鉄筋のプレハブ化、埋設型枠、プレキャストの大型構造物への適用拡大
	品質規定の見直し
	➢ スランプ規定の見直し
	部材の仕様(サイズ等)の標準化
	➢ 橋脚、型枠、鉄筋などのサイズ等の標準化に向けた検討(全体最適、サプライチェーンマネジメントにも通じた検討)
全体最適	全体最適を図る設計手法の検討
	➢ 生産性を高める技術・工法の導入促進に向け、省力化、工期短縮、ライフサイクル等の効果を評価する方法の検討 ➢ 主要部材の規格の標準化に基づく設計、施工の検討
工程改善	サプライチェーンマネジメントの導入の検討
	➢ 規格の標準化による製造等の合理化に向けた検討 ➢ 施工現場における待ち時間のロス等の解消に向けた、生コンクリートやプレキャスト工場での取組みの検討

}	現場打ち、プレキャストそれぞれにおいて、生産性を向上
}	現場作業の屋内作業化、定型部材の組み合わせによる施工への転換
}	建設生産プロセス全体を考慮して技術・工法を総合評価する手法の確立
}	建設生産プロセス全体の効率化を図り、待ち時間などのロスを減少

生産性向上技術の全国展開

現場毎の個別最適から一連の事業区間や全国の事業を想定した最適化

製作・運搬等を含んだ生産工程の改善

() 上記の他、土木学会からの生産性向上に関する提案について順次対応